

設立趣意書

現代の社会においてパソコンによる情報化の波は非常に早いスピードでおそってきました。視覚障害者にとってパソコンの利用は、情報の活用、職業の開拓、ひいては視覚障害者の自立と社会参加等の意味からも非常に重要なものになってきています。

しかし、Windows の普及以来パソコン環境はますますビジュアルなものになり、視覚障害者にとってパソコン操作はいつそう困難なものになってしまいました。通常のパソコン教室は数多くありますが、視覚障害者を対象としたサポートや習得のための有償サービスは少なく、またあったとしてもその存在を知ることが非常に困難な状況にあると言えます。そのため、結果的にはほんの一握りの視覚障害者しかパソコンを利用していないのが現状です。[\(注\)](#)

このような事を踏まえ、Windows 環境のもとで視覚障害者のパソコン利用を快適・積極的に進めていくためには、視覚障害者に対するパソコン操作方法等のサポートを充実させ、点在する組織や情報を繋ぎ合わせる必要があります。

そこで、視覚障害者はもちろんのこと晴眼者、一般のパソコン関連業者、視覚障害者向けパソコン関連業者、社会福祉協議会等の福祉団体、ボランティア団体や個人など多くの人々が協力し合い、視覚障害者のパソコン利用の拡大・推進する目的で平成11年4月10日に SPAN(スパン)を設立しました。